

コロナ禍における
健やかな子供の成長に
寄与するダンス(リズム体操)指導案

大阪ダンス&アクターズ専門学校

テーマパークダンサーコース2年

政川 和花奈

指導案

主な活動 【リズム体操】

実施年月日 月 日 曜日

対象児 0～2歳児 名

<p>子どもの実態</p> <p>0歳児 動くものに興味を持ったり、色々な物の感触を楽しんだりしている。自分からつかまり立ちや歩こうとする。</p> <p>1歳児 音楽を聴いて歌ったり、体を動かしたりして楽しんでいる。積極的に何かを伝えようと発声する。</p> <p>2歳児 自分のしたいことや嫌なことをはっきり伝えたり、保育者の真似をしたりする。</p>		<p>ねらい</p> <p>0歳児 身の回りの物を見る、探索する等の認識を豊かにし、表情や体を動かすことを楽しむ。</p> <p>1歳児 見たり聴いたりして感じたことを自分なりに表現し、豊かな感性や表現する力を養う。</p> <p>2歳児 聴く、見る、真似るなどの経験を通して、感覚の働きを豊かにする。</p> <p>全体 音楽に触れながら体を動かすことで、体を動かすことの楽しさを感じる。保育者、実習生、友だちの姿を見て関わろうとしたり、真似ようとしていたり、他者への興味を持つ。</p>	
時間	環境構成	予想される子どもの活動	保育者(実習生)の援助・
00:00		<p>○実習生の前に集まる。</p> <p>○初めて見る人に戸惑ったり、興味から関わろうとしたりする。</p> <p>○保育者と一緒に参加しようとする。</p> <p>○曲名を聞いて知っている、知らない等を伝えようとする。</p> <p>○実習生の話を聞く。</p>	<p>・子どもの興味関心を引くために、自己紹介をする。</p> <p>・大きな声でゆっくりと話し、後ろにいる子どもまで聞こえるように意識する。</p> <p>・リズム体操で使用する音楽を伝え、興味を持てるように促す。</p> <p>・これから行う内容を話し、活動の見通しが持てるように配慮する。</p> <p>・少し離れてみている子どもに対して声掛けをし、様子を見</p>

00:05		<p>○リズム体操をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦実習生や保育者の動きを見ながら真似ようとする。 ◦友だちや周囲の人の動きを目で追ったり、自分から関わりに行こうとしたりする。 ◦音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ。 ◦活動を楽しみながら、発声をして自分の気持ちを伝えようとする。 	<p>ながら活動に参加できるよう促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立つように伝え、一人ひとりが安全に動けるスペースを確保できているか確認する。 ・全員が楽しめるように、簡単に振り付けを説明する。 ・子どもがイメージしやすいように、実習生は実際に行う。 ・子どもの動きや表現を認め、子どもが達成感を感じられるように配慮する。 ・楽しい雰囲気を作りながら、子ども一人ひとりが自由に動けるように言葉がけをする。 ・子どもの発言を受け止めて共感する。
00:20		<ul style="list-style-type: none"> ◦実習生や保育者と一緒に最後の掛け声をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが楽しみながら体を動かしたことへの達成感を感じられるように、最後の掛け声をする。
00:22		<ul style="list-style-type: none"> ◦実習生にお礼を伝えたり、挨拶を返したりする。 ◦次の活動に興味を持つ子どももいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに活動の終わりが分かるように、お礼と挨拶をする。

指導案を書いた際に注意、意識したこと

- ・環境構成は行かせていただく園によって異なるため、記入していません。
- ・予想される子どもの活動は、大幅に変わる可能性があるため、園の先生方の協力が必要になります。
- ・子どもが集まっている状態から始めるのか、子どもを集める所から始めるのか、や、実習生についての情報は先に伝えられているのか等、園の先生との打ち合わせによって内容が異なります。
- ・人見知りなど、子どもによって反応が異なるため、無理やり関わりに行こうとせず、少し声をかけるだけで済ませたり、自分から参加してくれる子どもには積極的に関わり、周囲の他の子どもへの安心や興味を引いたりできるように、一つの活動内容に対して複数の援助と配慮を記入しています。
- ・0～2歳はしっかり発語できなかったり、体を思うように動かせなかったりすることを考え、踊ることではなく、音楽に合わせて体を動かすこと、楽しい雰囲気の中に参加することを目的として記入しました。
- ・3～5歳児は、場面緘黙、イレギュラーな活動が苦手、じっと座って話を聞くことが苦手、聴覚過敏等、様々な個性を考慮しつつ記入しています。
- ・3歳児は周りの様子も見ながら活動に参加できるように、4歳児は「忍者ってどんなの？」等の形で問いかけ、子どもがそれぞれで考えて踊れるように、5歳児は近くの友だちとハイタッチする等協力できるように、などの、「体を動かす」こと以外の部分での成長も含めて記入しています。
- ・ねらいや活動内容、援助と配慮は実際に完成した振り付けなどによって変わります。
- ・3～5歳児のルールに関しても、振り付け、環境構成、保育者や実習生の人員配置などによって変わります。

指導案

主な活動 【リズム体操】

実施年月日 月 日 曜日

対象児 3～5歳児 名

<p>子どもの姿</p> <p>3歳児 友だちとイメージの共有をして遊ぶ。 他者への興味を持つようになる。</p> <p>4歳児 友だちと協力できるようになる。 ごっこ遊びを楽しむ。 指先などの細かな動きができる。</p> <p>5歳児 自分から活動を切り替えたり、生活活動を積極的に行ったりするようになる。 自由遊びの時間にダンスをしたり、サッカーをしたりして自発的に体を動かすことを楽しむ。</p>	<p>ねらい</p> <p>3歳児 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 活動の中でルールを守ることの大切さについて触れる。</p> <p>4歳児 実習生の問いかけから、自分で想像、表現し、創造力を豊かにする。</p> <p>5歳児 友だちとリズム体操を楽しみながら、協力して振りを完成させる達成感を味わう。</p> <p>全体 身近な音楽を用いて体を動かすことで、運動、スポーツへの興味を促す。 リズム体操から運動会や発表会での競技、ダンスなどへの期待が持てるようにする。</p>		
時間	環境構成	予想される子どもの活動	保育者・実習生の援助・配慮
00:00		<p>○実習生の話を聞く。</p> <p>○実習生の自己紹介を聞きながら、気になったことや発見したことを伝える。</p> <p>○実習生のクイズに答えようとする。</p> <p>○後ろや端の方で活動を眺めている子どももいる。</p> <p>○保育者の隣に立ち、活動に参加しようとしている子どももいる。</p>	<p>・子どもが興味を持てるように自己紹介をする。</p> <p>・周囲の物事に関心を持っている子どもには声をかけ、実習生に視線が向くように促す。</p> <p>・活動に参加したそうにしている子どもに声をかけ、楽しい雰囲気の中で活動が行えるように配慮する。</p> <p>・保育者と活動に参加しようとしている子どもには、アイ</p>

00:05		<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習生の話聞く。 	<p>コンタクトなどで関わりを持ちつつ、子どもの気持ちを尊重する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動をする中でのルールを伝える。 <ol style="list-style-type: none"> 1、友だちと当たらないように十分なスペースを確保する。 2、友だちを叩いたり押ししたりしない。 <ul style="list-style-type: none"> ・ リズム体操ができるように、広いスペースに移動するよう声をかける。
00:10		<ul style="list-style-type: none"> ○ リズム体操をする。 ○ 実習生を見ながら真似をする。 ○ 保育者や友だち、実習生と楽しさを共有しながら踊る。 ○ 自分で考えながら表現することを楽しむ。 ○ 少しずつ表現をして楽しむ子どももいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが理解できるように、動物や虫に例えながら振りを伝える。 ・ 子どもの目を見ながら活動を行い、楽しい雰囲気を作る。 ・ 次の振りが分かるように先行して伝えながら行う。 ・ 子ども同士の距離感が近くなりすぎているかを配慮しながら見守る。 ・ 子どもが協力して行うところは様子を見ながら実習生、保育者も参加し、全員が楽しめる環境を作る。
00:25		<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習生や保育者と、楽しさを共有する。 ○ 実習生の話聞き、保育者へ意識を向ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりの表現を認め、達成感を味わえるように促す。 ・ 活動の終わりが分かるように、お礼と挨拶を伝え、保育者の話を聞けるようにする。

